平成16年第5回 市議会定例会報 No.133 平成16年11月1日発行 編集·発行加古川市議会事務局 加古川市加古川町北在家2000 TEL 0 7 9 4 - 2 7 - 9 3 0 3



平成15年度各会計決算を認定

平成16年第5回市議会定例会は、9月6日から28日まで、23日間の日程で開催されました。 平成16年度各会計補正予算をはじめ、加古川市手数料条例の一部改正や教育委員会委員の 任命及び公平委員会委員の選任など、市長提出議案19件の審議が行われ、すべて原案のとお り可決されました。

また、平成15年度各会計決算17件は、すべて原案のとおり認定されました。

	全議 質疑 日休) 一般 日休) 一般 日金) 各常 日金) 委員 (質疑	会案、質質任会、議ず 審上員問委審討案れ 員査論にとり	告 付託 (計 (即決) 前9時30	分に	め る 意 見 書
	☆ ら 5 ≰ 生 ー 7 ∃ 中 般	2 B A N B	-		ALC: NOT THE OWNER
ます。議長は議会を代表し、議議員の中から一人ずつ選ばれ議長と副議長といいます。	市の議員官牧は系列で三十三人ます。任期は四年です。加古川ら、市民の選挙によって選ばれ満二十五歳以上の市民の中か議員	市議会のしくみ	・決算の認定・条例の制定や改廃	な項目は次のとおりです。 定することになっています。主より、十五項目について意思決	市議会は地方自治法の規定に
議れ ノ	しませんか 本会議と委員会を傍聴 す。	の常任委員会(総務、建設水道、を設置しています。 現在、 四つ能率的に審査するために委員会	範囲で複雑なので、より専門的・れますが、 市の仕事は非常に広事項は、 すべて本会議で決定さ	議案その他議会で議決すべき委員会す。	定をするために開かれる会議で

りる意見書	地方分権推進のための「国庫補助負担金改革案」の実現を求	郵政事業の民営化に関する意見書	次の意見書が可決され、関係機関へ送付されました。	意見書	願です。 全会一致	れる方向で検討するよう、意見書を提出してもらいたいとの請	者の立場に立った最善の方策など、諸機能の発揮が十分になさ	これは、今後の郵政事業の展開を検討するに当っては、利用	郵政民営化について(加古川町木村・堀江亮邑)	採択となったもの	本定例会及び常任委員会で、請願に結論が出されました。	i 請 願
-------	-----------------------------	-----------------	--------------------------	-----	-----------	------------------------------	------------------------------	-----------------------------	------------------------	----------	----------------------------	-------------

	問		価		内		議
	問合先		格		容	販	숤
(🛱 🖾 ୨ ຠ ୦ ຠ)	議会事務局	で1 8、000円	記述編・資料編セット	の市議会の内容	昭和25年から55年まで	売しています	融会史を



「残ぐより」「きょう見言」	市議会が決めること	ています。	して、市長は実際に仕事を進め	市議会で決定したことをもとに	論し、決定しています。そして、	を代表して市の仕事について議	選んだ市議会議員が、みなさん	こで、市民のみなさんが選挙で	映されなくてはなりません。そ	さんの意見や要望が、行政に反	をしています。このため、みな	さんの生活に直接かかわる仕事	療、上下水道など、市民のみな	加古川市は、福祉、教育、医	市議会とは	
---------------	-----------	-------	----------------	----------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	---------------	-------	--

せくオノス ちょく くちまえ う

ー 化への取り組みはどうなってている現在、施設のバリアフリーションの考え了! として、校舎の教育総務部長いるか。 拡大され、 も通っているが、 る特定建築物の範囲が学校等にや身体障害者が円滑に利用でき 正八 議員 の施工時に段差の解消、 には重度の障害を持つ児童生徒 義務が課された。市内の学校園 利用円滑化基準に適合する努力 平成十五年四月施行の改 トビル法により、 校舎の大規模改造事業 新築・増築の際には 基本的な考え方 ・マライゼ トイ 高齢者 レ

議員 との合併以前から、三十年にわ議員
志方中学校では加古川市 その他の質問項目 工事を実施している。 について、 たり小学校と同様の給食が実施 ŕ 新クリーンセンター について 教育行政について 志方中学校の 新クリー 学校の安全管理 学校生活に支障となる部分 給食継続を 広 瀬 個別対応により改修 ンセンター 弘 子 のあり方 議員



化をはかるため、 校実施にあたり、 の結果、 校PTAによる給食アンケート給食を考える会」及び志方中学 志方中学校で行われた「中学校 給食廃止の方針を出されたが、 をはかるため、志方中学校の実施にあたり、他校との平準っせん方式」による給食の全 志方の給食方式の継続

の身障者対応、

階段などへの手

されている。

市では「お弁当の

公平性を欠くのでは、

との指摘

校給食という一つの形態があり、

Ιţ

家庭からの手作り弁当と学

までは、実施をしないよう求め中学校関係者の合意が得られる。志方 るがどうか。 教育総務部長 市内の中学校に

の減免等の申請はできると考えより、被保険者から一部負担金市民部長(国保法第四十四条に考える。申請があればどうか。 断は、 るが、 では、 する」 医療機関へ一部負担金を支払う特別な理由がある被保険者で、 ද して、減免、又は支払いを猶予事が困難と認められるものに対 由は含まれていない。 害が対象であり、 第四十四条では、 救済策として、 訴えを聞く。 しかし、 、それ以外の規定も必要と、震災時に適用した例があ」と規定されている。本市 各保険者が行うものの て、国民健康保険法でのような市民の 本市の規定は、 それ以外の事中の規定は、災 、保険者は、 最終的判

ている。ている、ないのでなければならないでとも十分協議を重ね、検討しの状況等も調査する中、近隣市の状況等も調査する中、近隣市取れたものでなければならない理要領等は、全国的に整合性の その具体的判断基準及び事務処 その他の質問項目 国保医療費一部負担金減免制度 の実施を求めることについて の要求について 加古川 へ院生活福祉給付金制度の継続 除 医療費一部負担金の減額、 の廃止を受け、 議会の十六年度予算認定/県 整備について 堀 中州の 充至 継続の要望は 議員

徴収猶予の規定が必要で 免

> の流れを阻害しており、安心との流れを阻害しており、安心との中州には雑木が生い茂り、水ものの、池尻橋、加古川橋付近 護荢りをlithで大水害が発生している。」 るが、 折衝しているのか。 庁の国土交通省へはどのように うになっているか。 対策として、 議員 ζ 土砂のしゅんせつが必要と考え は言い切れない。 護岸の整備等が行われてはいる については、 下水道部長 自然環境に配慮しながら、 この対策、 本年七月、 これらの伐採及び は、河川の氾濫 計画はどのよ 計画的な治水 また管轄省 また現在も 加古

二十本の雑木の伐採が行われた。 災害防止 重要課題であると認識している災害防止の観点から、治水は最 伐採を行っており、 国土交通省におい 加古川中州の雑木 昨年は約百



行っていきたい。ついては、適時 古川市中心部自転車ヒヤリマッ議員(大阪大学等が作成した「加 ので、 その他の質問項目 流下に支障のある雑木や土砂に 新クリ 学校の食教育について 健康増進センターについて 加古川駅周辺整備について を減らす方策は ベルデモー 食教育 センター 道改良 いるか) 学校からの発信は如何にして子供の家庭教育(保護者への 加古川駅南北地区の具体策/ 期のスケジュー ル / 健康増進 旧クリー 危機管理の対応 国交省に対し、 ーンセンター について 適時除去等の要望を 佐藤 ンセンター /子供の朝食摂取と の年次計画 ルの駐輪対策・車 守 トル の解体時 今後とも 議員

含め 、 最 どの問題に対処するため、 プ_ では、 箇所ある。市では、 用環境整備基本計画」 車の利用を促進する「 とする半径五百メー 最も危険性の高い所が六 小学校などの通学路を 加古川小学校を中心 道路混雑な を策定中 内に、 自転

> おり、これらのを゙゙゙゙゙゙゙゙ぃ゙ヾ 性の高い箇所として指摘されて 加古川小学校周辺の六箇所のほ 難である。 だが、 討していきたい。 を図るため、地域住民や公安委の抑制や交通マナー 教育の充実 しかし、 交差点改良が有効と考えている。 通行量が多く見通しが悪いため、 その他の質問項目 員会等との合意形成に向けて検 でいるため、 どう考えて でも減らす方策について、 ついて 加古川市中心部の危険な道路に **園庭・校庭の芝生化について** 教育行政 芝生化に対する考え方/屋外 危険性の高い箇所の通学路 教育環境整備事業 事故を未然に防ぎ、 付近に建物が建ち並ん 今後は、 いるのか。 改良の事業化は困 Ô 自動車交通 市は 少し

あり方は 教育基本法は「教育は不 Щ Ш 博 議員

とは、いかなるう々ですります。「国民に直接責任を負う」ことを求め 勢力の支配にも従うもの一とは、いかなる行政権力、 議員 当な支配に服することなく国民 ではな

会等に供する公営施設/選挙

違反の摘発

うしてこういこでのますのです 識を持ち、また今の教育行政の 当な支配についてどのような認 は如何なる押し付けとも無縁で 持った一人の人間であり、教育 し出している。子供達は人格を問題は教育行政のあり方を照らの学力、いじめ、不登校などの介入する道を推し進めた。子供 行われることがあってはならな配の介入や特定の利益のために教育指導部長教育は不当な支 介入する道を推し進めた。子供あるとして教育に行政が不当に盛り込み、これに法的拘束力が いきたい。 教育指導部長の教育は不当なまあり方についてどう考えるか。 要領に基本法を蹂躙する規定をい。しかし、政府は、教育指導 その他の質問項目 いと考える。 につい 加古川市地域水田農業ビジョン 教育行政のあり方について 選挙管理について 二〇〇四年参議院選挙 / 演説 京都教委による「君が代・日 整/農産物の価格補償 市農政で の丸」強制研修 教育基本法の理念の実現/東 τ の取り組みノ 今後も主体性、 ,生産調 て中



別府西小の身障者対応トイレ。

院に行くことができないという議員 最近、暮らしに困って病	中村 照子 議員	の実施を	国保医療費一部	学校給食法にもとづいた給食	中学校給食について	その他の質問項目	ている。	だけるよう、努力したいと考え	方向で、関係者にご理解をいた	り弁当による昼食を基本とする	おいても他の中学校と同じ手作	がある。このため志方中学校に
------------------------------	----------	------	---------	---------------	-----------	----------	------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

都市計画部長 ている。 順次検討していきたい。 より市民ニーズを把握するととの導入も、アンケート調査等に線の維持確保に加え、他地域へ 交通網は、 また、 また、本年っ…、を継続する方向で進めている。 来 その他の質問項目 もに費用対効果を勘案しながら ようにし、 に限り普通回数券が使用できる 地域振興施策について 延べ約三十二万七千 中心市街地活性化への具体策 本年七月から二百円区間 しかし、 十分でなく、 利便性の向上を図っ 試験運行開始以 市全体の公共 現行路 人が利

市民部長 っているのか。 警察、 議員 拡大などの対策を進めることが 安心のまちづくりモデル地区の 察 安全なまちづくり対策会議」を 団体からの要望を受け、「安心・ 決まったが、その対策の内容と、 巡回パトロー 設置した。 人事件の後、 まちづくり対策は 安心・安全な 保健所、 保健所の対応策はどうな 親族七人が亡くなった殺 坂 田 会議では、 巡回パトロール車の ・ル車の増車、安全・ 市は自治会、 地域と連携して、 重 隆 行政が警 議員 各種

> 期結成の協力要請を行いたい 係団体に対し、モデル地区の早 うち一校区からは近々申込みが通知している。残り十九校区の その他の質問項目 考えている。 各町内会、PTA連合会等の関 あり、他の十八校区については、 から申込みがあり、 在二十八小学校区のうち九校区 既に決定を 現 ع

安全安心のまちづくりについ 指定管理者制度について 巣対策 策会議/生活安全共済/空き 容疑者の人権/警察官の配置 / 安全・安心なまちづくり対 τ

施設選定基準/公の施設の概

/ 市独自の取り組み

を要望し、 止することが大切であるが、最検挙率を上げ、犯罪の発生を抑 古 議員 市民部長 ると考えるがどうか。 近はパトロー ルのため無人にな には七人が殺害される痛ましいい等の事件が後をたたず、八月 交番が無人では住民が不安であ る「空き交番」 事件が発生した。治安対策には、 なったが、 警察署管内の警察官の増員(昨年三月の一般質問で加 わずかながら増員に 市内には十七交番と ひったくりや車上狙 が増えている。

> L Ł ィ 対策 現状/企業への働きかけ 組み状況/市内の屋上緑化の 共施設の今後の取り組み トアイランド対策につい ムペー ジのアクセシビリテ トアイランド対策の取 / 公 Ŋ τ

安全で安心なまちづくり対策に

対策は

相良

大悟

議員

ついて 若者の雇用対策について み / 安全パトロールジリモデル地区事業」 取り組み状況/「二Tト対策」 見/「 安全と安心のまちづく 空き交番の現状に対しての所 キャリアカウンセリング等の と今後の取り組み ル隊の評価 の取り組 価

可決されました。 条例の一部改正など計三十三件が提出されました。 休会中に所管の常任委員会で審査し、 本定例会初日に、市長から平成十六年度各会計補正予算、 すべて原案のとおり

議の結果、 主な議案の内容は、 また、最終日には、 すべて原案のとおり同意されました。 市長から人事案件三件が提出され、 次のとおりです。 審

般 会 늵

のあり方等について検討を行お ギ 円の内容を質問したのに対し、 がありました。 うとするものである」との答弁 新エネルギー 理事者から「 ービジョン策定等事業七百万 総務費のうち、 普及啓発のための助成制度 の導入、 公共施設における 地域新エネル 新エネル

った結果、老朽化が判明したたたりJRの許可を得て調査を行判断していたが、事業実施にあの調査資料に基づき利用可能と 理事者から「線路内の既設配水円の内容を質問したのに対し、辺整備事業の工事請負費七千万 管について、地域振興整備公団 土木費のうち、 老朽化が判明 東加古川駅周

> ヤ Ş こカー である」との答弁がありました。 円で千枚購入することなどであ 事業二千二百七十三万円の内容台帳費の証明書自動交付機設置 め布設替えを行おうとするもの テムを開発することと、 交付機の利用が可能となるシス についても日本人と同様に自動 を質問したのに対し、 ラリ 商工費のうち、加古川市民ギ 総務費のうち、 との答弁がありました。 ドを一枚あたり一千五百 戸籍住民基本 「外国人 にこに

「JR加古川駅の高架化に伴い 万円の内容を質問したのに対し、 顔として 本市の玄関口にふさわし 整備事業三千二百九十 駅利用者の利便性向口にふさわしい街の

> IJ I ました。 平方メートルに整備しようとすコース沿いの駅北広場側約百十 市民の自発的な芸術文化活動に行うことによる観光客の招致、 能を備えた案内所兼市民ギャラ イベント、宿泊等の情報発信を寄与することを目的に、観光、 対する場の提供を行うなどの機 るものである」 上及び本市のイメー ジアップに を高架下改札口外側のコン との答弁があり



.



ド及びにこにこカードの普及を促すため条例を改正しようとにこにこカードの手数料を定めるとともに、住民基本台帳カ手数料条例の一部改正

するものです。 (賛成多数)

制定 公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の

(賛成多数)

市立学校設置条例の一部改正 (賛成多数)

部改正
(全会一致)
非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の (全会一致)

業十 童の早期発見、早期対応、 質問したのに対し、 個別相談を行うため、 小学校における不登校児 からの委託事業であり、 の相談員活用調査研究事 育費におけるこどもと親 教育費のうち、 八万五千円の内容を 家庭教 鳩 県

加古川にこにこカード。 研究を行うものでを配置し、調査、 ある。 活かしていきたい 学校における不登 里小学校に相談員 校対策に効果的に れた成果等を各小 との答弁がありま 今年度得ら

公平委員会委員

中なかた

美祭(神戸市)再任

5

山 ま 本

まさる

勝(平荘町)再任

三宅 みやけ

英子(平岡町)再任



ことに同意しました。 委員会委員に任命及び選任される 次の人が教育委員会委員、公平 (敬称略)

教育委員会委員

ている。また、市内他地域から運行継続を求める声が寄せられ迎える中で、沿線の利用者からきた。試行期間であった一年をーンリスの記駁通行を実施して
--



その他の質問項目	すると聞いている。	年度は十五箇所に相談員を配置	所の交番に相談員を配置し、今	消が図られている。昨年は十箇	員を配置し、「空き交番」の解	時四十五分までの間、交番相談	め、平日の午前九時から午後三	せることは困難である。そのた	で、常時交番に警察官を待機さ	地図検索サービスの導入/1 「住民サービスの間、交番の警察官 し、「空き交番」の の他の質問項目 の他の質問項目 の他の質問項目 の他の質問項目 し、「空き交番」の に し、「空き交番」の し、「空き交番」の の他の質問項目 し、「空き交番」の し、「空き交番」の し、「空きで番」の し、「空きで番」の し、「空きで番」の し、「空きで番」の し、「 で た る。 た る。 を 配 置 し、「 に し、」 に し、 し、 に し、 に し、 に し、 に し、 に し、 に し、 に し、 に し、 に し、 に の の の し、 に の に の し、 に の し、 の に の し、 の に の し、 の に の の の の の の し、 の し、 の で の の 間 、 の に の の し、 の し の の で の し、 の の の 間 し、 の に の の し、 の し、 の の の の の で の し、 の の の の の し、 の し、 の の の し、 の の し、 の し、 の の し、 の し、 の の し、 の し、 の し、 の し、 の し、 の し、 の し、 の の し、 の し、 の の し、 の し、 の し、 の し、 の し、 の し、 の し、 の し 、 の の の の の し、 の し、 の し、 の し、 の し、 の し、 の の の の の 一 の の し、 の し、 の し、 の し、 の し 、 の の の し 、 の 一 の し 、 の 一 の し 、 の の 一 し 、 の 一 、 の 一 し 、 の 一 の 一 し 、 の 、 の 一 の し 、 の 一 の し 、 の 一 し 、 の 一 し、 の 一 し 、 の 一 の 一 の し 、 の の し し 、 の 一 の し 、 の し 、 の 一 し し 、 の し し し 、 の の の し し し 、 の 一 し し し 、 の の し し し し 、 の の の 一 し し し し し し し 、 の 一 し し し し し 、 の の て の の の の の 一 し し し し し し し し し し し し し
民サービスのIT化」に	いて「住民サービスのIT化」にの他の質問項目	いて「住民サービスのIT化」にの他の質問項目	「住民サービスのIT化」につその他の質問項目 「住民サービスのIT化」につすると聞いている。	いて いて いて	いて いて	いて、「空き交番」ので配置し、「空き交番」のでで、「空き交番」のです。	いて いて	いて、平日の午前九時から午後、平日の午前九時から午後	いて、平日の午前九時から午後、平日の午前九時から午後の他の質問項目の他の質問項目のと聞いている。昨年は十ちを配置し、「空き交番」のので番に相談員を配置し、「住民サービスのIT化」につると聞いている。	
民サービスのIT化」に	「住民サービスのIT化」にの他の質問項目	「住民サービスのIT化」にの他の質問項目	「住民サービスのIT化」につその他の質問項目年度は十五箇所に相談員を配置	「住民サービスのIT化」につその他の質問項目年度は十五箇所に相談員を配置所の交番に相談員を配置し、今	「住民サービスのIT化」につての人間にている。昨年は十五箇所に相談員を配置し、今所の交番に相談員を配置し、今所の交番に相談員を配置し、今	「住民サービスのIT化」に一の他の質問項目の他の質問項目のもと聞いている。昨年は十が図られている。昨年は十のでいる。	「住民サービスのIT化」に一つ他の質問項目の他の質問項目ので、「空き交番」のので番に相談員を配置し、「空き交番」のの他の質問項目の。	「住民サービスのIT化」に」の他の質問項目の他の質問項目のと聞いている。昨年は十方箇所に相談員を配置し、「空き交番」のの支番に相談員を配置し、「空き交番」のので番に相談員を配し、「空き交番」ののもの質問項目	「住民サービスのIT化」に1の他の質問項目の他の質問項目ので、「空き交番」の四十五分までの間、交番相十五箇所に相談員を配置し、「空き交番」のので番に相談員を配置し、「空き交番」ののもの質問項目の他の質問項目の	いて
	その他の質問項目	の他の質問項目ると聞いてい	その他の質問項目年度は十五箇所に相談員を配置	その他の質問項目すると聞いている。	その他の質問項目すると聞いている。昨年は十箇所に相談員を配置し、今所の交番に相談員を配置し、今消が図られている。	の他の質問項目の他の質問項目のでき交番」ののです。のでで、のでで、のでで、のでで、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、	の他の質問項目の他の質問項目の他の質問項目のであると聞いている。昨年は十年でによっている。昨年は十年でにより、「空き交番」のので番に相談員を配置し、「空き交番」ののでの間、で番相のの質問項目の世上の分までの問	の他の質問項目 の他の質問項目 でいる。昨年は十 の交番に相談員を配置し、 の交番に相談員を配置し、 の交番に相談員を配置し、 ので番に相談員を配置し、	の他の質問項目 の他の質問項目 の交番に相談員を配置し、 で空き交番」の の交番に相談員を配置し、 で空き交番」の ると聞いている。昨年は十 ると聞いている。	民サービスのIT化」に
ることは困難である。そのの交番に相談員を配置し、「空き交番」の四十五分までの間、交番相の交番に相談員を配置し、「空き交番」のの交番に相談員を配置し、「いる。昨年は十方の方までの間、交番相のです。その	度は十五箇所に相談員を配の交番に相談員を配し、「空き交番」のでで、「空き交番」の四十五分までの間、交番相て、「空き交番」の四十五分までの間、交番相の十五分までの間、交番相の、常時交番に警察官を待機	の交番に相談員を配置し、が図られている。昨年は十、平日の午前九時から午後ることは困難である。その、常時交番に警察官を待機	が図られている。昨年は十、で配置し、「空き交番」の四十五分までの間、交番相、平日の午前九時から午後ることは困難である。その、常時交番に警察官を待機	を配置し、「空き交番」の四十五分までの間、交番相、平日の午前九時から午後ることは困難である。その、常時交番に警察官を待機	四十五分までの間、交番相、平日の午前九時から午後ることは困難である。その、常時交番に警察官を待機	平日の午前九時から午後ることは困難である。その常時交番に警察官を待機	を そ 待 の 機			
ることは困難である。その、常時交番に相談員を配置し、「空き交番」ので番に相談員を配置し、「空き交番」ので番に相談員を配置し、「空き交番」のででの時である。そのので番に相談員を配置し、「空き交番」のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので	度は十五箇所に相談員を配てし、、平日の午前九時から午後ることは困難である。昨年は十を配置し、「空き交番」の四十五分までの間、交番相、で配置し、「空き交番」のの交番に相談員を配置し、「空き交番」のでで、	の交番に相談員を配置し、が図られている。昨年は十、平日の午前九時から午後ることは困難である。その、常時交番に警察官を待機巡回パトロールが主たる業	が図られている。昨年は十を配置し、「空き交番」の四十五分までの間、交番相、平日の午前九時から午後ることは困難である。その、常時交番に警察官を待機巡回パトロールが主たる業	を配置し、「空き交番」の四十五分までの間、交番相、平日の午前九時から午後ることは困難である。その、常時交番に警察官を待機巡回パトロールが主たる業	四十五分までの間、交番相、平日の午前九時から午後ることは困難である。その、常時交番に警察官を待機巡回パトロールが主たる業	平日の午前九時から午後ることは困難である。その常時交番に警察官を待機巡回パトロールが主たる業	を た そ 待 る の 機 業	交ト番ロ		いる。
ることは困難である。交番の警察では十五箇所に相談員を配置し、「空き交番」のの交番に相談員を配置し、「空き交番」のの交番に相談員を配置し、「空き交番」のですたの時から午後のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので	度は十五箇所に相談員を配、平日の午前九時から下意し、「空き交番」のの交番に相談員を配置し、「空き交番」のの交番に相談員を配置し、「空き交番」のでで、たいる。昨年は十二分までの間、交番相である。その幾当されている。交番の警察	の交番に相談員を配置し、 、平日の午前九時から午後 ることは困難である。昨年は十 を配置し、「空き交番」の 四十五分までの間、交番相 である。その の交番にとは困難である。その ので番の置し、「空き交番」の	が図られている。昨年は十、、平日の午前九時かる。た番相の十五分までの間、交番相ることは困難である。そのることは困難である。その後、二時交番に警察官を待機、巡回パトロールが主たる業置されている。交番の警察	を配置し、「空き交番」の四十五分までの間、交番相、平日の午前九時から午後ることは困難である。その、常時交番に警察官を待機巡回パトロールが主たる業置されている。交番の警察	四十五分までの間、交番相、平日の午前九時から午後ることは困難である。その、常時交番に警察官を待機巡回パトロールが主たる業置されている。交番の警察	平日の午前九時から午後ることは困難である。その『常時交番に警察官を待機巡回パトロールが主たる業	困難である。その番に警察官を待機いる。交番の警察	番口い	ロい	名
ると聞いている。で番相 、平日の午前九時から午後 ることは困難である。その で図られている。昨年は十 が図られている。昨年は十 が図られている。昨年は十 の交番に相談員を配置し、 の交番に相談員を配置し、	度は十五箇所に相談員を配置し、、常時交番に相談員を配置し、「空き交番」の四十五分までの間、交番相、一部ののでである。昨年は十方での置し、「空き交番」のの交番に相談員を配置し、「空き交番」のでで、な話し、	の交番に相談員を配置し、が図られている。昨年は十で配置し、「空き交番」の四十五分までの間、交番相、平日の午前九時から午後ることは困難である。そのの十五分までの間、交番相である。そのの警察官を代で一名から四名の警察官	が図られている。昨年は十が図られている。昨年は十で配置し、「空き交番」の四十五分までの間、交番相である。その四十五分までの間、交番相である。その驚いたいる。交番の警察で代で一名から四名の警察官	を配置し、「空き交番」の四十五分までの間、交番相、平日の午前九時から午後ることは困難である。その、常時交番に警察官を待機巡回パトロールが主たる業置されている。交番の警察官代で一名から四名の警察官	四十五分までの間、交番相、平日の午前九時から午後ることは困難である。その、常時交番に警察官を待機巡回パトロールが主たる業置されている。交番の警察	の午前九時から午後である。そので、「な番に警察官を待機である。そのです。その警察官を待機	は困難である。その	交トて名	トて名	一駐在所があり、勤務体制は三

募抽選方式による売却を試みたいて、一般競争入札方式及び公理事者から「市有地四物件につった理由を質問したのに対し、 ついて、 低売却価格に達せず、が、一般競争入札につ については申込者がなかったた 二百八十五万三千九百六十円に へにおける市有地売払収入五千 一般競争入札については最 当初予算を大幅に下回 公募抽選

た ファミリー サポー センター

めである」

との答弁がありまし

事業の効果は

二十四万四千八百三十二円につ サポ 児童福祉費におけるファミリ トセンター 運営事業千

> との答弁がありました。 が多く、互いに協力し合うこと 地域保健医療情報

システムの普及拡大と 充実を

から「参画していない医療機関ました。これに対し、他の議員参画している」との答弁があり においては、一市二町の百八十対し、理事者から「十五年度末参画医療機関数を質問したのに 関 医療情報システム事業一億四千 八医療機関のうち百十三医療機 九百九十三万九百円について、 保健衛生費における地域保健 市内では九十八医療機関が



電動式生ごみ処理機。

い」との要望がありました。後も継続して実施してもらいた

消費生活相談員事業の 相談内容は

ーとの連携を強化し、適切なアクシント増の千三百三十万五千円について、 あり、有料サイト利用について、 もとも、東播磨生活科学センタの不当請求、債権回収業者を名のに対し、理事者から「十 したのに対し、理事者から「十 相談件数と主な相談内容を質問 である。今 ドバイスを行いたい」との答弁 保護対策事業の消費生活相談員 消費者対策費における消費者

がありました。

工事請負費の不用額で 小規模工事の執行を

七円について、議員から「不用用額五百三十一万七千六百四十維持費における工事請負費の不維持費における工事請負費の不能が認識である。 ました。 額は、 充てられたい」 極力小規模工事の執行に との要望があり



币民防災体験案内業務 委託の効果は

て、効果を質問したのに対し、十五万二千九百三十五円につい防災体験案内業務委託料三百九おける防災センター 事業の市民 年度から人材派遣会社に委託し時職員で対応していたが、十五理事者から「十四年度までは臨 消防費のうち、常備消防費に

> ました。 可能となった」との答弁があり専門的な内容についても対応が たことにより、心肺蘇生法など

緊急雇用創出

不登校指導補助員 配置事業の効果は

ことから、事業効果を十分検証は、十六年度で事業が終結するじめ緊急雇用創出事業について員から「不登校指導補助員をは りました。これに対し、他の議の効果があった」との答弁があ より、不登校児童生徒の別室登者から「きめ細やかな指導等に して実施してもらいたい」とのついては、十七年度以降も継続し、効果が得られているものに 室登校生が学級へ復帰するなど 校生が増加したことに加え、 効果を質問したのに対し、 八百三十万六千百十円について、 出不登校指導補助員配置事業千 要望がありました。 中学校費における緊急雇用創 理事 別

直営化に向けた取り組みは 留守家庭児童対策事業の

用年齢制限を見直したことなどから「十五年度より指導員の雇みを質問したのに対し、理事者 助方式の直営化に向けた取り組 童対策事業について、 社会教育費のうち留守家庭児 P T A 補

> た。との答弁がありました。 を踏まえ、早期に合意が得られ

在宅訪問理美容サービス 利用促進の方策は

対し、理事者から「民生児童委ら、今後、どのような方策を考者が大幅に下回っていることかついて、「当初予算と比べ利用 との答弁がありました。 図り、利用を促進していきたい」 員を通じ、 員や在宅介護支援センター 事業委託料十八万七千五百円に 業における訪問理美容サー 老人福祉費のうち在宅福祉事 事業の一層の周知を · の職 ビス

水道 事業会計

未収金回収に向けた 今後の取り組みは

し、理事者から「これまで実施後の取り組みを質問したのに対収金について、回収に向けた今六百八十円のうち、水道料金未未収金十億七千五百二万二千 ていきたい」との答弁がありまさらなる滞納解消に向け努力し ち徴収業務等の外部委託を行い 収 収納等に加え、営業課業務のう している給水停止、休日訪問徴 コンビニエンスストアでの



企業会計として 独立した運営を

億五千万円について、今後の見 た。として独立した運営に努めても 議員から「今後とも、企業会計 弁がありました。これに対し、 一般会計からの長期借入金三

財産収入のうち、財産売払収	取り組みは	市有地売払の		一般会計	· · ·		審査されました。	において、九月十三日と十四日の日程で	ど十七件の決算が、所管の各常任委員会	平成十五年度一般会計歳入歳出決算な			
保育、幼稚園等の送迎時の利用十五名となっている。主に学童	供会員百七十六名、両方会員三	て、依頼会員二百五十六名、提	については、十五年度末におい	のに対し、理事者から「会員数	いて、会員数と効果を質問した		長報告の主な						
	がありました。	を図ってもらいたい」との要望	Rを行うとともに、制度の充実	ムの普及拡大に向け、一層のP	もあることなどから、本システ		長報告の主な内容は、次のとおりです。	べて原案のとおり認定されました。 委員	任委員長から報告され、採決の結果、す	審査の結果は、本定例会最終日に各常	•		
	る関心も高まることから、今後	量につながるうえ、環境に対す	れに対し、議員から「ごみの減	る」との答弁がありました。こ	助件数については減少傾向にあ	会を通じて啓発しているが、補	や保健衛生協議会等あらゆる機	たのに対し、理事者から「広報	円について、普及状況を質問し	機購入補助金五百六十九万八千	化推進事業の電動式生ごみ処理清掃総務費におけるごみ減量	音乃打ノを	電動式生ごみ処理機の
及効果も高いことなどから、今ォームに対する需要があり、波	れに対し、議員から「住宅リフ	た」との答弁がありました。こ	万円程度の波及効果が認められ	金に対して約十七倍の一億三千	家電製品を購入するなど、補助	ら「住宅リフォー ムにあわせて	を質問したのに対し、理事者か	五十七万五千円について、効果	住宅リフォーム補助事業七百	継続実施を	住宅リフォーム補助事業の	ありました。	カしてもらいたい」との意見がも普及拡大に向け、より一層努(